



## はがきヒコーキ

作るのちょっと難しい？  
きちんとできるとかなり飛びますよ。

### 材料&道具

古はがき(郵便局のはがき),  
竹串(つまようじ), はさみ, カッターナイフ, 定規, クリップ,  
カッターマット(古雑誌), 輪ゴム, セメダインC

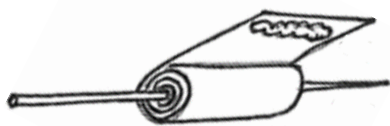
### 作り方

① 飛行機の型を古はがきに写し取ります。(はがきが無い場合には、210g/m<sup>2</sup>くらいのケント紙を使用し、長手の方を曲げにくい向きに切って使ってください。)  
写し取るには、型紙の下にはがきを敷いて、鉄筆・ボールペンなどで押さえつけて写し取る。  
写し取る際にカーボン紙を敷いても良いです(最近はあまり売っていません)。  
型紙を切ってはがきにコピーをする、ケント紙(A4)にコピーをする、などの方法がありますが  
どんな方法でもかまいません。

② 実線をはさみ・カッターナイフで切って部品を切り離します。  
機体が1枚、つばさが2枚、重りが2枚になります。

③ 重りを作ります。

竹串に重りの部品を巻きつけて巻きぐせをつけます(2枚とも)。  
2枚とも巻きぐせがついたら再度竹串に巻きつけるように固く丸めていきます。  
途中で竹串を抜いて指で挟むように巻くと固く巻けます。  
1本目が巻き終わるところにのりをつけ巻きが解け無いようにします。  
さらにその上にもう1枚の重りを巻いて、最後にのりでとめてできあがり。



なるべく固く巻く



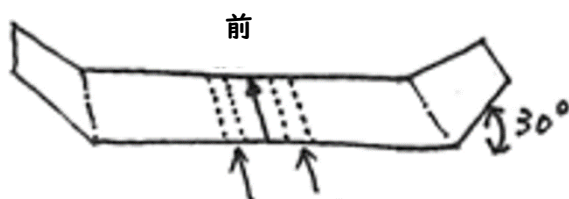
のりをつける



次の紙を巻き付ける

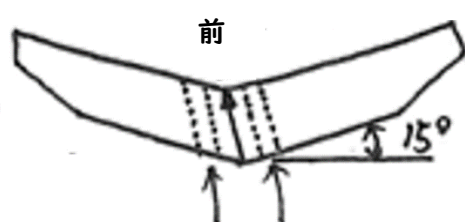
④ つばさを2枚張り合わせます。  
↑を重ね合わせる様に貼り合わせます。

《1》の翼

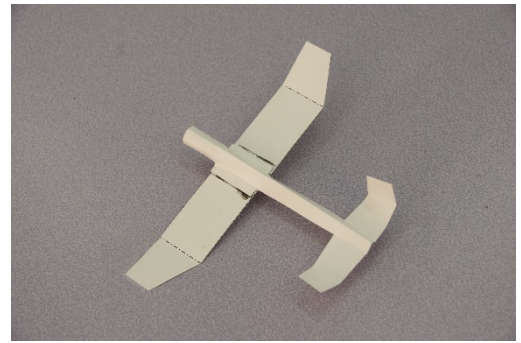


胴体を張り付ける

《2》の翼

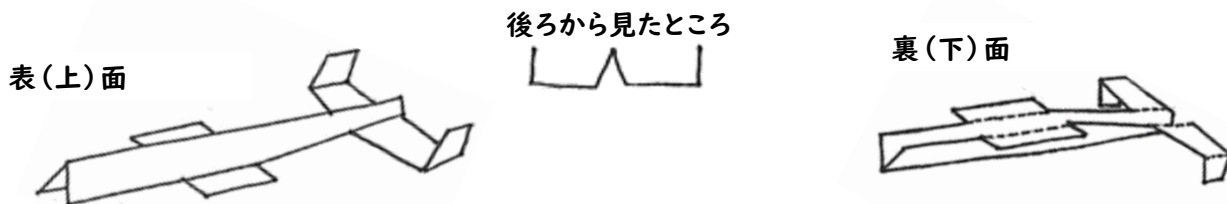


胴体を張り付ける



⑤ 折り目をつけます。

つばさと機体の、破線は山折り、一点鎖線は谷折り、点線は後での接着めやすです。  
折り目をつけるときには必ず定規をきちんと線に当てて折り目をつけていきます。  
折り目がきちんとしていないと後できれいに飛ばなくなります。



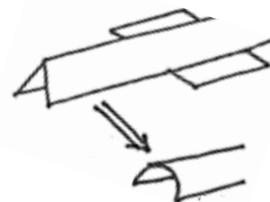
⑥ 機体の先頭のところに重りを接着します。

機体の先頭のところを爪と指の腹を使って丸めてつけやすくします。

(できなくてもかまいません。)

機体の先頭の内側にのりをつけ重りを接着します。

輪ゴムか目玉クリップでとめておきます。



⑦ つばさを機体に接着します。

《1》の機体は上反角が30度、《2》の機体は上反角が15度くらいです。

つばさにある点線の個所に接着してください。

つけたらずれ無いようにしばらくクリップで押さえておきます。

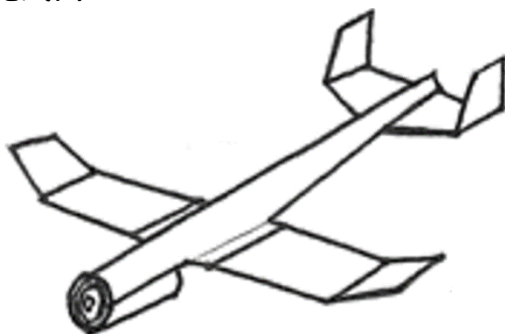
⑧ つばさの調整をします。

水平尾よくはなるべく一直線になるように。

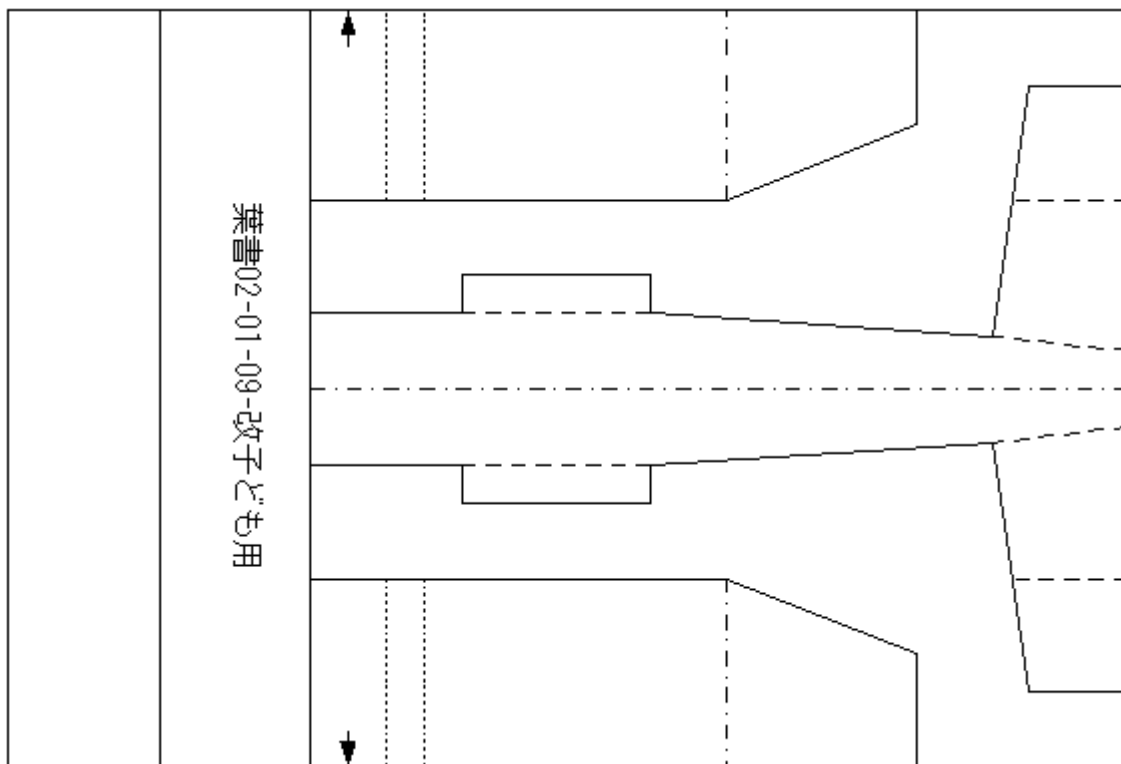
垂直尾よくは90度になるように。

つばさは、きちんと左右とも水平尾よくに対して正対しているか、調整します。

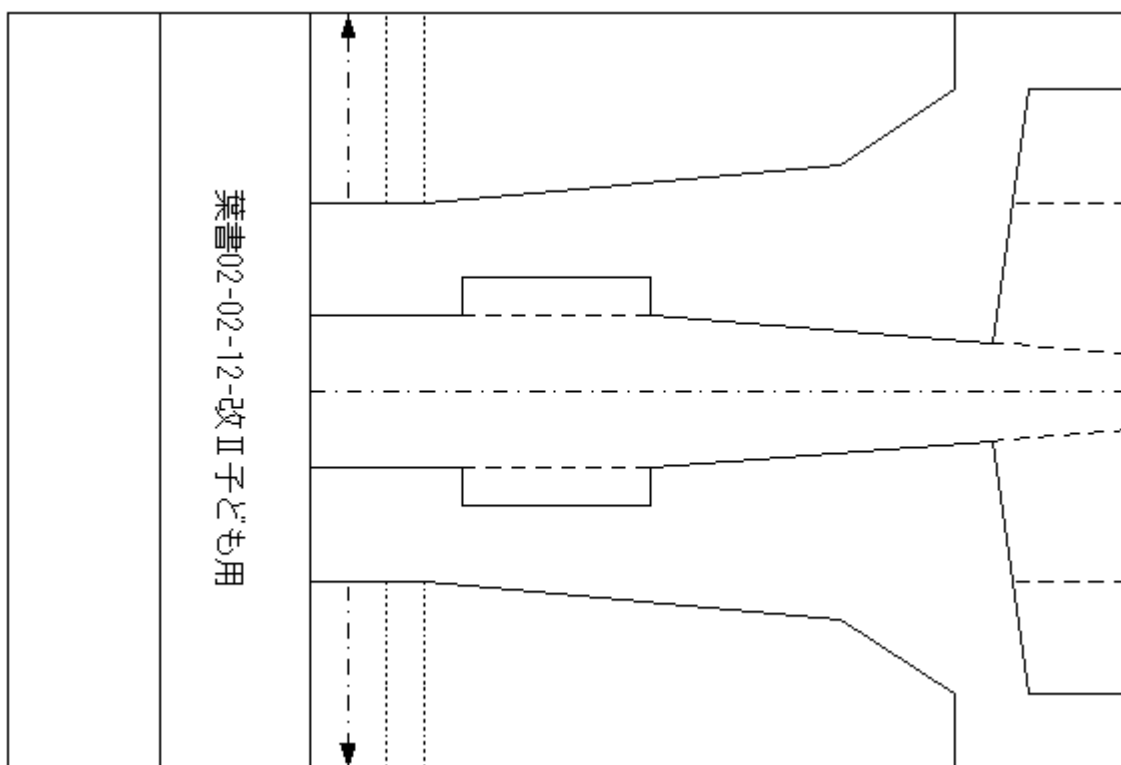
《1》の完成図



《1》



《2》



《3》おまけ

